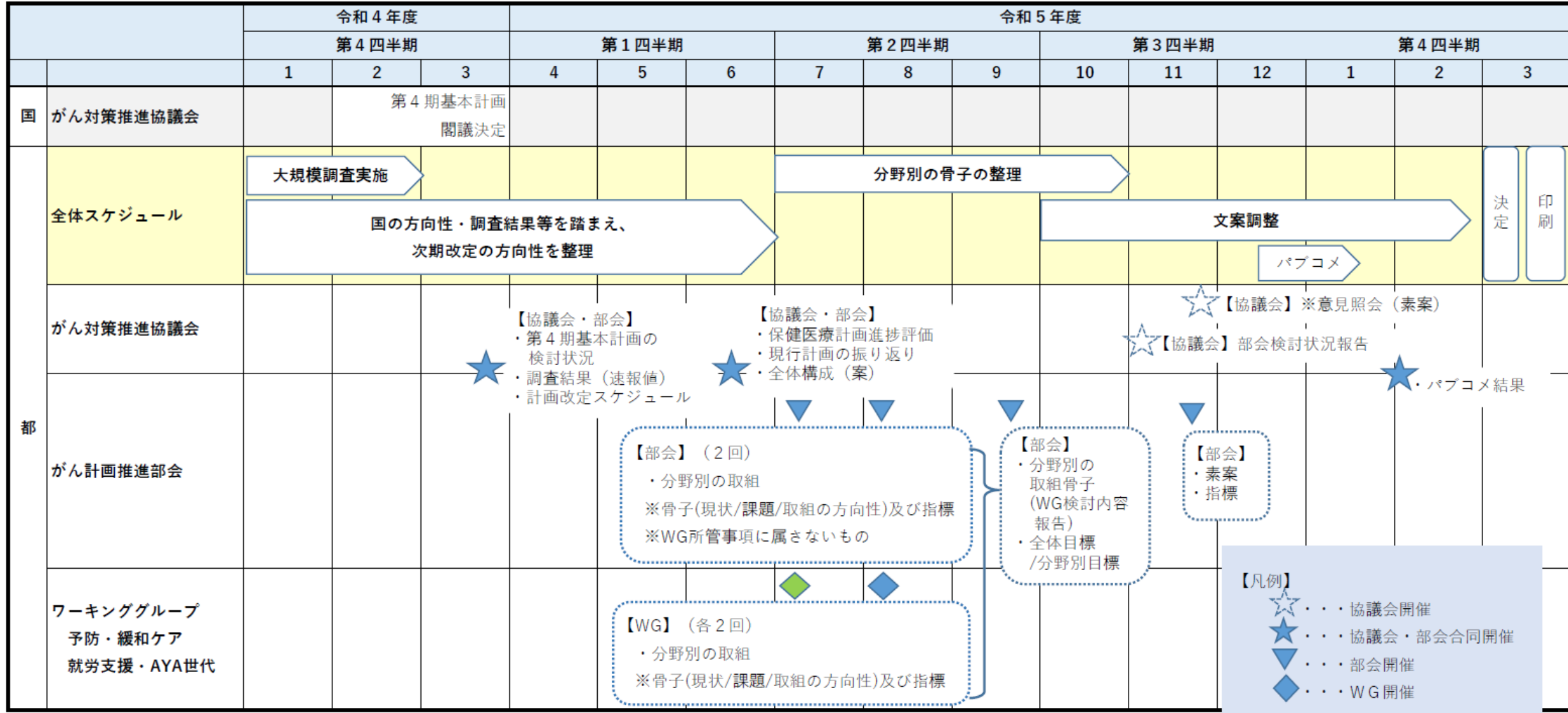


「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」

小児・AYA世代パートの検討

計画改定に係る全体スケジュールについて



次期計画の全体構成

章	章タイトル	記載事項イメージ
第1章	計画改定にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都におけるがんの状況（死者数・罹患者数等） ・ 国のがん対策 ・ 都のがん対策計画の変遷 ・ 第3期改定計画の位置づけと計画期間 ・ 進行管理及び改定（協議会の開催と進捗状況評価）
第2章	がんを取り巻く現状	<p>1 東京都のがんの状況 （罹患・死亡等、年齢調整死亡率の推移、全国との比較、推計患者数の推移）</p> <p>2 東京都のがん医療における地域特性 （高度・大規模な医療機関の集積、二次保健医療圏を超える患者の受療動向、小児がん医療）</p>
第3章	全体目標と基本方針	<p>全体目標（今後検討）</p> <p>目標1（今後検討 / がん予防に関するもの）</p> <p>目標2（今後検討 / がん医療に関するもの）</p> <p>目標3（今後検討 / がんとの共生に関するもの）</p>
第4章	分野別施策	<p>I がん医療</p> <p>II がん予防</p> <p>III がんとの共生</p> <p>VIII 基盤づくり</p>
第5章	計画推進のために	各関係主体の役割分担

次期計画の「分野別施策」パートの項目及び主な記載事項（イメージ）

分野	大項目	中項目	主な記載項目
I 予防	1 がんの予防 (一次予防)	(1) 生活習慣、生活環境	喫煙・受動喫煙、食生活・身体活動量 等
		(2) 感染症	肝炎ウイルス、HPV、HTLV-1、ヘリコバクター・ピロリ 等
	2 がん検診 (二次予防)	(1) 検診受診率向上	関係機関支援、検診受診に関する普及啓発
		(2) 精度管理	科学的根拠に基づく検診実施、精密検査受診率向上、関係機関支援
II 医療	1 がん医療提供の充実	(1) 拠点病院等の医療提供体制	基本的な集学的治療の提供体制、高度な治療法の提供体制、がんゲノム医療、支持療法、リハビリテーション、納得して医療を受けるための情報提供、BCPの検討 等
		(2) 地域の医療提供体制	拠点病院との連携推進、在宅療養の推進 等
	2 切れ目のない緩和ケアの提供	(1) 提供体制の充実	拠点病院等における取組、拠点病院等以外の病院における緩和ケアの推進、緩和ケア病棟における緩和ケアの推進、在宅緩和ケアの推進
		(2) 人材育成の充実・強化	緩和ケア研修会、その他人材育成に係る取組
		(3) 正しい理解の促進	医療従事者への啓発、都民や患者及び家族への啓発
	3 小児・AYA世代のがん医療	(小児) 医療提供体制の充実・連携の強化 (AYA) 医療提供体制の充実・連携の強化 (共通) 長期フォローアップ・移行期支援、妊孕性温存療法、在宅医療を担う人材育成等	
4 高齢者のがん医療	拠点病院を中心とした地域における連携体制整備の推進、高齢がん患者やその家族等の意思決定に係る取組の支援		
III 共生	1 相談支援の充実	がん相談支援センター、患者団体・患者支援団体、ピアサポート・患者サロン 等	
	2 情報提供の充実	東京都がんポータルサイト等を活用した情報提供の充実・強化、東京都がん診療連携協議会との連携した発信 等	
	3 社会的な問題への対応	(1) 仕事と治療の両立支援	患者/家族に対する支援、企業における治療と仕事の両立支援、医療機関における治療と仕事の両立支援
		(2) 就労以外の社会的問題	アピアランスケア、生殖機能温存、自殺対策 等
	4 ライフステージに応じた患者支援	(1) 小児・AYA世代	(小児) 相談支援の質の均てん化 (AYA) 相談支援の充実、在宅療養の支援 (共通) 病院内教育体制の充実・強化、療養環境の充実
(2) 高齢者		拠点病院を中心とした地域における患者・家族の支援体制整備の推進	
IV 基盤づくり	1 がん登録	院内がん登録、全国がん登録	
	2 がん研究		
	3 正しい理解の促進	学校におけるがん教育、あらゆる世代へのがん教育	
	4 患者・市民参画の推進		

主な取組事項	取組結果に課題が残ったもの	《参考》現計画に記載はないものの、次期計画改定にあたり留意すべき視点
<p>◆小児がん患者</p> <p>①小児がんの医療提供体制の充実・強化及び医療提供体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会における症例検討会等の取組を通し、東京都小児がん診療連携ネットワーク参画病院の医療提供体制を充実・強化 ・ネットワーク参画病院の診療実績等の情報をがんポータルサイトにて集約・周知 ・地域の医療従事者向け研修会を開催し、ネットワーク参画病院との連携体制を強化 <p>②相談支援・情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク参画病院において患者支援リーフレットを作成 <ul style="list-style-type: none"> *東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業 《東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会》 ・ネットワーク参画病院の相談支援員を主対象とした事例検討会開催 <ul style="list-style-type: none"> *東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業 《東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会》 ・小児がんに関する相談窓口を東京都がんポータルサイトにて周知 ・小児がん患者の療養上のポイントをがんポータルサイトにて周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がんの早期診断に向け、ネットワーク内外の連携体制の強化に引き続き取り組む必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ※令和4年度小児がん患者調査（保護者が回答） がんと診断されるまでに受診した医療機関数 「3か所」 31.9% 「4か所以上」 15.6% ・がん相談支援センターの認知度の向上に引き続き取り組む必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ※令和4年度小児がん患者調査（保護者が回答） がん相談支援センターの利用状況 「がん相談支援センターがあることを知らない」 28.3% 	<p>【調査結果から示唆される課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付き添い等のため保護者が離職を余儀なくされるケースがある。 <ul style="list-style-type: none"> ※令和4年度小児がん患者調査（保護者が回答） 付き添いをしていた際の保護者の就労状況 「就職していたが離職した」 21.2%
<p>◆AYA世代のがん患者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な医療・相談支援等提供体制の構築に向け、モデル事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> 《AYA世代等がん患者支援モデル事業（R1～R2）》 ・AYA世代がん相談情報センターを開設し、AYA世代がん患者への相談支援を行うとともに、相談支援に係る情報等を集約し、医療機関関係者への情報提供を実施 <ul style="list-style-type: none"> 《AYA世代等がん患者支援事業（R3～）》 ・がん相談支援センターの相談員によるAYA世代支援勉強会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 《東京都がん診療連携協議会》 	<p>—</p>	<p>【調査結果から示唆される課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AYA支援チームの設置について、必ずしも進んでいない状況がある。 <ul style="list-style-type: none"> ※令和4年度医療施設等実態調査（指定病院に対して） AYA支援チームを設置しているか。 「設置の予定なし」 23.9% 「設置が困難」 10.9%

主な取組事項	取組結果に課題が残ったもの	≪参考≫現計画に記載はないものの、次期計画改定にあたり留意すべき視点
<p>(3)小児・AYA世代共通</p> <p>①都の実態に見合った長期フォローアップ体制の検討 ≪東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業（東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会）≫</p> <p>②生殖機能の温存に関する情報提供の充実 ・診療情報提供書の雛形作成 ・情報提供の取組に係る好事例の共有・勉強会の開催 ≪東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業（東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会）≫</p> <p>③緩和ケア提供体制の充実 ・「小児がん緩和ケア研修会」の開催 ≪東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業（東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会）≫ ・小児緩和ケアリーフレットの作成 ≪東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業（東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会）≫</p> <p>④病院内教育体制の充実 ・病院内訪問教育における病弱教育支援員の派遣やタブレット端末による学習機会の充実 ・病院内分教室における分身ロボットの活用による学習支援</p> <p>⑤就労支援の推進 ・がん患者によるアピアランスケア用品の購入を支援 ≪がん患者に対するアピアランスケア支援事業(R5～)≫</p>	<p>・AYA世代がん患者の在宅療養に関して改善の必要性が指摘されている。 ※令和4年度医療施設等実態調査（指定病院に対して） ・AYA世代のがん患者の身の回りや生活面への支援・療養環境として改善が必要なもの（在宅療養期間中） 「家事援助」71.7% 「通院時に患者本人の子供を一時的に預けられる環境」69.6% 「日常的に子供を預けられる環境(保育施設やシッターなど)」69.6% 「本人が介護を受けられる環境」63.0%</p> <p>・AYA世代がん患者への緩和ケア提供に係る人材育成の必要性が指摘されている。 ※令和4年度医療施設等実態調査（在宅療養支援診療所に対して） AYA世代のがん患者の在宅医療・療養、緩和ケアに関して、今後充実させる必要があると考える取組 「AYA世代のがん患者に対応できる在宅医療・療養を支える医療人材の育成」60.2%</p> <p>・がん医療と生殖医療の連携促進に取り組む必要がある。 ※令和4年度医療施設等実態調査（指定病院に対して） がん医療と生殖医療の連携にあたっての課題 「病院全体として、統一的な方針やマニュアルがない」52.2%</p> <p>・長期フォローアップの在り方について、引き続き、検討を行う必要がある。</p>	<p>—</p>

【参考】

主な指標の達成状況

指標項目	基準値	目標	最終値	達成状況
東京都がんポータルサイトの閲覧数（小児がん）	15,017件	増やす	11,945件	D
「病院の相談員」に相談した患者（家族）の割合（小児がん）	12.3%	増やす	22.3%	A

次期計画における小児・A Y A世代パートの構成（案）

- 1 医療（ライフステージに応じた医療提供）
 - ①小児がん患者（医療提供体制の充実・連携の強化）
 - ②A Y A世代のがん患者（医療提供体制の充実・連携の強化）
 - ③小児・A Y A世代のがん患者共通（長期フォローアップ・移行期支援、妊孕性温存療法、在宅医療）

- 2 共生（ライフステージに応じた患者支援）
 - ①小児がん患者（相談支援）
 - ②A Y A世代のがん患者（相談支援、在宅療養）
 - ③小児・A Y A世代のがん患者共通（病院内教育、療養環境）